

## 抗ウイルス素材・加工剤の国内市場の調査結果

新型コロナウイルス流行の影響による特需で市場は急拡大

—2021年見込（2020年比）—

■抗ウイルス素材・加工剤の国内市場 178億円（17.9%増）

～新規参入、新製品投入、用途拡大が加速するとともに、認証取得も進む～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、需要が急増している非医薬品系の抗ウイルス素材の国内市場を調査した。その結果を「[抗ウイルス素材・加工剤市場の最新情勢](#)」にまとめた。

この調査では、抗ウイルス効果を持続的に発揮する対物用の素材として、無機系金属化合物、可視光応答型光触媒、有機系化合物、抗ウイルス加工繊維と、それぞれの応用・関連製品の市場を調査・分析した。

<調査結果の概要>

■抗ウイルス素材・加工剤の国内市場

	2020年	2019年比	2021年見込	2020年比
全体	151億円	2.4倍	178億円	117.9%
無機系金属化合物	68億円	158.1%	90億円	132.4%
有機系化合物	35億円	3.2倍	42億円	120.0%
可視光応答型光触媒	22億円	2.8倍	24億円	109.1%

※無機系金属化合物、有機系化合物、可視光応答型光触媒は全体の内数

抗ウイルス素材・加工剤を銅銀系などの無機系金属化合物、可視光応答型光触媒、有機系化合物（有機系の合成抗菌剤、界面活性剤、天然物系）、抗ウイルス加工繊維を対象とする。

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、抗ウイルス効果を持続的に発揮する抗ウイルス素材・加工剤の需要は急増している。特需を追い風に新規参入、新製品の投入、用途拡大の動きが加速しており、製品の抗ウイルス性能を保証するS I A A（抗菌製品技術協議会）、S E K（繊維評価技術協議会）、P I A J（光触媒工業会）の抗ウイルス加工マークの登録数が急増するなど認証取得も進んでおり、2020年の市場は前年比2.4倍の151億円となった。2021年も引き続き市場は拡大し、178億円が見込まれる。

無機系金属化合物は、抗菌素材として需要を獲得してきたが、2020年以降、新型コロナウイルス流行の影響により新たに抗ウイルス素材としての需要が大きく上乘せされている。有機系化合物は、2021年に繊維用途での需要は落ち着いたものの、フィルターやインテリアなど繊維以外で採用が増加している。可視光応答型光触媒は、光触媒工業会が製品評価の基準を示したことで、性能の客観的評価が可能となり、認証を取得した製品が増加するなど知名度が向上している。フィルターや壁、床など内装材用途での需要が好調で、今後も伸長が期待される。

■抗ウイルス素材の応用・関連製品の国内市場

2020年	2019年比	2021年見込	2020年比
4,160億円	192.0%	5,145億円	123.7%

抗ウイルス素材を二次加工した部品および最終製品の合算市場を捉えた。衛生用品、衣料品、内装材、家電、生活雑貨品など幅広い製品で特需となっている。市場は2020年に急拡大し、2021年は5,000億円を超えると見込まれる。

S I A Aが認証する抗ウイルス加工マークは、2020年中頃以降に登録件数が急激に増加し、2020年末の247件から2021年8月時点で679件に達している。繊維製品が対象のS E K抗ウイルス加工マークと光

触媒製品が対象のPIAJマークの認証取得がラッシュを迎えている。製品差別化策の一環として、認証取得に必要なインフルエンザウイルス、ネコカリシウイルスのほかに、参入メーカーによる新型コロナを対象とした抗ウイルス性試験の結果公表の動きが相次いでおり、今後も市場拡大が期待される。

<調査対象>

抗ウイルス素材	
・無機系金属化合物	・有機系化合物
・可視光応答型光触媒	・抗ウイルス加工繊維

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2021年9月～10月

以上

資料タイトル	： <a href="#">「抗ウイルス素材・加工剤市場の最新情勢」</a>
体裁	： A4判 63頁
価格	： PDF版 330,000円（税抜300,000円） ネットワークパッケージ版 495,000円（税抜450,000円）
発行所	： 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165 URL： <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> e-mail：info@fuji-keizai.co.jp
調査・編集	： ライフサイエンス事業部
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL： <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/press/">https://www.fuji-keizai.co.jp/press/</a>	

## 目次

I. 抗ウイルス素材・加工剤 市場総括編	P
1. 抗ウイルス素材・加工剤の分類	2
2. 市場規模推移	
① 抗ウイルス素材・加工剤市場	3
② 応用・関連製品市場	4
3. 抗ウイルス素材・加工剤の用途別市場構成	5
4. 抗ウイルス素材・加工剤の剤型別市場構成	7
5. 認証制度と認証取得動向	
① 抗ウイルス性試験の概要と認証基準	9
② SIAA抗ウイルス加工マーク 登録数推移	10
③ SIAA抗ウイルス加工マーク 登録数の製剤系統別内訳	11
④ SIAA抗ウイルス加工マーク 登録数の用途別内訳	12
6. 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する抗ウイルス性試験の実施状況	13
7. 抗ウイルス素材・加工剤の今後の市場展望	17
II. 抗ウイルス素材別市場編	
1. 無機系金属化合物 抗ウイルス素材	18
2. 可視光応答型光触媒 抗ウイルス素材	36
3. 有機系化合物 抗ウイルス素材	44
4. 抗ウイルス加工繊維	55

【調査項目】素材1～4共通

① 市場アウトライン（参入企業・製品概要・用途一覧）

1-1. 抗ウイルス素材・加工剤 主要製品・参入企業一覧 1-2. 応用・関連製品一覧（一部のみ掲載）

② 市場規模推移 2019年実績/2020年実績/2021年見込/2022年予測（金額ベース）

1. 素材・加工剤市場 2. 応用・関連製品市場

③ 素材・加工剤市場の用途別市場構成【衛生用品、衣料/寝装品、建材資材/内装材、家電/空調、その他】

④ 素材・加工剤市場の剤型別市場構成、剤型別価格動向【粉体、液体/分散液、マスターバッチ、コーティング剤、フィルム、その他】

⑤ 有力メーカーの製品・販売政策

⑥ 抗ウイルス試験の実施状況・認証取得状況